別　紙

県費留学生募集概要及び必要書類一覧

１　受入人数　学費支援型：２名
（新潟県は留学生の大学入学検定料・入学金・授業料を負担する。
生活費や住居費等その他の経費は負担しない。）

２　入学時期　２０２１年４月１日（予定）
※期間は原則１年間（状況により１年間延長できる。）

３　受入条件　下記のすべての条件を満たすこと
（１）大学を卒業していること（研究生として受け入れるため）
（２）留学中・留学修了後、新潟県との友好交流促進を行う意欲があること
（３）出身国での新潟県関連イベント等に協力できること
（４）留学修了後、一定期間（３年程度）は定期的に近況を報告すること、等
（詳細は、別紙要綱参照）

４　推薦書類

（１）推薦書（様式第１号）	１通
（２）履歴書（様式第２号）	１通
（３）家族調書（様式第３号）	１通
（４）健康診断書（様式第４号）	１通
（５）研究（研修）希望調書（様式第５号）	１通
（６）最終学校の卒業証明書（日本語訳文を添付）	１通
（７）学業成績証明書（日本語訳文を添付）	１通
（８）大学入学願書及び研究生入学志願書（大学様式） （新潟大学の様式。他大学を希望する場合は要相談）	各１通
（９）日本語能力検定試験２級以上の証書（写し）	１通
(10) 新潟県資料作成用調書	１通
(11) 写真（４cm×３cm）	４枚

５　提出期限
・書類(2),(5),(6),(7)　９月 14 日(メールで提出)
・書類一式（上記を含む）　９月 28 日(郵送で提出)

担当・提出先：新潟県知事政策局国際課　桜井
住所:〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町 4-1
TEL：+81-(0)25-280-5962
FAX：+81-(0)25-280-5126
Email: sakurai.yuko@pref.niigata.lg.jp

（様式１号）

推　　薦　　書

氏名　　（男・女：　　歳）

上記の者を、新潟県費留学生候補者として推薦します。

年　　月　　日

推薦者　　㊞

新潟県知事　花　角　英　世　様

（様式２号）

履　歴　書

１　国　　籍：

２　氏　　名：

３　生年月日：　　年　　月　　日

４　現 住 所：

５　配 偶 者：　　無　・　有　（配偶者氏名：　　）

６　学　　歴

	学校名	所在地	入学年月	卒業年月
小学校			年　月	年　月
中学校			年　月	年　月
高等学校			年　月	年　月
大学	（学部・学科）		年　月	年　月
大学院	（専攻）		年　月	年　月

７　職　　歴

勤務先	職種	所在地	就職年月	退職年月
			年　月	年　月
			年　月	年　月
			年　月	年　月

８　修了後の予定

作成年月日：　　年　　月　　日

本人署名（Signature）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（様式３号）

家　族　調　書

氏　　名	年　齢	留学生との続柄	国　　籍	職　　業	備　　考

＊南米移住者の場合は、備考欄に世代（１世、２世等）を記入願います

（様式4号）

健康診断書

（医師に記入してもらうこと）
日本語又は英語により明瞭に記載すること。

CERTIFICATE OF HEALTH

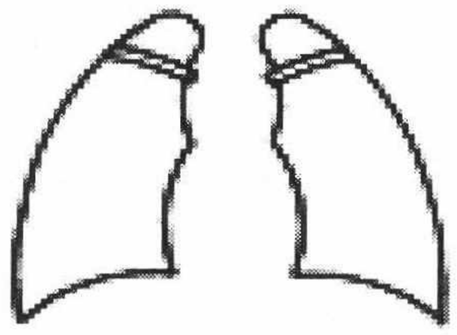
(to be completed by the examining physician)
Please fill out (PRINT/TYPE) in Japanese or English.

氏名 Name	Family name 姓	Given name 名	Middle name ミドルネーム
性別 Sex	□ 男 Male □ 女 Femal	生年月日 Date of Birth	年 Year 月 Month 日 Day

1．身体検査 Physical examination

(1)身長 Height	cm	(2)体重 Weight	kg
(3)血圧 Blood pressure	mmHg～ mmHg	(4)血液型 Blood type	□A □B □AB □O □RH＋ □RH－
(5)脈拍 Pulse	□ 整 Regular □ 不整 Irregular	(7)色覚異常の有無 Color blindness	□ 正常 Normal □ 異常 Impaired
(6) 視力 Eyesight 裸眼 Without glasses	(右) (R) (左) (L)	(8)聴力 Hearing	□ 正常 Normal □ 異常 Impaired
(6) 視力 Eyesight 矯正 With glasses or contact lenses	(右) (R) (左) (L)	(9)言語 Speech	□ 正常 Normal □ 異常 Impaired

2．胸部聴診及びX線検査 （6ヶ月以内）
Physical and X-ray examinations of the chest (within six months)



胸部X線所見 Describe the condition of lungs.	
撮影年月日 Date of X-ray	年 Year 月 Month 日 Day
フィルム番号 Film No.	
(1)肺 Lungs	□ 正常 Normal □ 異常 Impaired
(2)心臓 Cardiomegaly	□ 正常 Normal □ 異常 Impaired
異常がある場合⇒心電図 If impaired⇒Electrocardiograph	□ 正常 Normal □ 異常 Impaired

3．現在治療中の病気 Disease currently being treated

□ 無 No □ 有 Yes ： 病名 Disease

4．既往症 Past illness/disorder

該当するものにチェックと完治時期/治療中を記入、いずれも該当しない場合は「無し」にチェックすること。
Please check and fill in the date of recovery/under treatment.
If NOT contracted any of them in the past, please check “None”.

✓	病名Name	完治時期/治療中 Date of recovery /under treatment	✓	病名Name	完治時期/治療中 Date of recovery /under treatment
	結核 Tuberculosis			マラリア Malaria	
	その他感染症 Other communicable disease			てんかん Epilepsy	
	腎疾患 Kidney disease			心疾患 Heart disease	
	糖尿病 Diabetes			薬剤アレルギー Drug allergy	
✓ 無し None	精神疾患 Psychosis			四肢機能障害 Functional disorder in the extremities	

5．検 査 Laboratory tests

(1) 尿検査 Urinalysis:	糖 glucose		蛋白 protein		潜血 occult blood		
(2) 貧血検査 Anemia test	赤沈 ESR	mm/Hr	白血球数 WBC count	/cmm	血色素量 Hemoglobin	gm/dl	貧血 Anemia
(3)肝機能検査 LFT	GPT (ALT)	(IU/ l)	GOT (AST)	(IU/ l)	γ-GTP		(IU/ l)

6．医師の診断・意見

継続的治療・投薬、その他問題がない場合も、その旨ご記入ください。

Physician's impression of the applicant's health
Please write if the applicant needs regular medication or treatment. If you do not have a particular opinion, please write as such.

7．志願者の既往歴、診察・検査の結果から判断して、現在の健康の状況は充分に留学に耐えうるものと思われますか？
In view of the applicant's history and the above findings, is it your observation that his/her health status is adequate to pursue studies in Japan?

はい Yes	□	いいえ No	□	

日付 Date	年 Year 月 Month 日 Day	医師署名 Physician's Signature	
検査施設名 Office/Institution		所在地 Address	

（様式５号）

研究（研修）希望調書

氏名：　　印
１研究希望大学（研修希望試験研究機関）
２　研究（研修）希望科目 第１希望（日本語にて６００字程度、具体的に詳細を記入すること） 第２希望（日本語にて６００字程度、具体的に詳細を記入すること）
３　学校で勉強した専門科目、知識、経験及び現在従事している職務内容（詳細に記入すること）

注）研究（研修）希望科目を詳細に記入しないと受入先を決定できないので、できる限り詳しく記入してください。複数ページに渡っても構いません。

新潟県資料作成用調書

氏名	日本語	
	自国語	
	ローマ字 In Roman block capitals	
生年月日		
出生地		
現住所		
職業		
本人が郵便受取可能な住所		
電話	昼間	
	夜間	
ＦＡＸ番号		
E-mailアドレス		
日本への渡航歴		
旅券	旅券の所持	あり　　なし　　（○をつけること）
	番号	
	発行年月日	
	有効期限	
	発行機関	
査証申請予定地（都市名）		

（学部　様式20）

研　究　生　入　学　志　願　書

平成　年　月　日

新潟大学教育・学生支援機構　留学センター長　　殿

ふりがな 本人氏名	年　月　日生

下記により研究生として入学の許可を受けたいので，関係書類を添えて出願します。

記

希望指導教員	
研　究　題　目	
研　究　期　間	平成　　年　　月　　日　から　令和　　年　　月　　日まで
最　終　学　歴	年　月卒業
本人の連絡先	〒 電話 Email

（注）　　――線の枠内を記入すること。

指　導 教員印	

在　籍　番　号								検定料	入学料
			Y					／	／

No.＿＿＿＿＿＿

許　　可　　書

新潟大学学則第81条の規定により，上記のとおり入学を許可する。

令和　　年　　月　　日

新潟大学教育・学生支援機構　留学センター長　　印

（公印の押印のないものは無効）

(様式1)

Paste your passport photograph taken within the past 6 month. Write your name and nationality in block letters on the back of the photo.

(写真(6×4cm))

NIIGATA UNIVERSITY
APPLICATION FOR RESEARCH STUDENT (KENKYU-SEI)
(研究生入学願書)

(記入上の注意)
1. 記入はタイプ又は楷書とすること。
2. 数字は算用数字を用いること。
3. 年号はすべて西暦とすること。
4. 固有名詞は全て正式な名称とし，一切省略しないこと。

INSTRUCTION;
1. Application should be typewritten or written in Roman block capitals.
2. Numbers should be in Arabic figures.
3. Year should be written in the Anno Domini system.
4. Proper nouns should be written in full, and not be abbreviated.

1. Name in full; in native language(姓名(自国語))

_____ , _____ , _____
(Family name) (First name) (Middle name)

In Roman block capitals(ローマ字)

_____ , _____ , _____
(Family name) (First name) (Middle name)

(Sex)
☐ Male(男)
☐ Female(女)

(Marital Status)
☐ Single(未婚)
☐ Married(既婚)

2. Nationality(国籍)

3. Religion(宗教)

4. Date of Birth(生年月日)

Age (年齢) _____ 19_____ (year)(年) _____ (month)(月) _____ (day)(日)

5. Present Status; with the name of the university attended, or of the employer(現職)

6. Present Address and Telephone number or Telex number(現住所及び電話又はテレックス番号)

7. Permanent Address(本籍)

8. Field of Study specialized in the Past: Describe in detail and as concretely as possible.
(過去に専攻した専門分野(できるだけ具体的に詳細に書くこと。))

9. Proposed study program in Niigata University; Describe in detail as concretely as possible. Statement must be typewritten or written in block letters. State in Japanese if you have sufficient knowledge of the Japanese language.
(本学における研究計画。できるだけ具体的に詳細に書くこと。記入はタイプ又は楷書によるものとし，必要な場合は別紙を追加してもよい。相当の日本語能力を有する者は，日本語により記入すること。)

i) Field of Study in detail(専攻分野;詳細に記入すること。)

ii) Study Program in detail(研究計画;詳細に記入すること。)

iii) Period of study(希望の研究期間)

From 20 _____ (year)(年) _____ (month)(月) _____ (day)(日) to 20 _____ (year)(年) _____ (month)(月) _____ (day)(日)

10. Educational background（学歴）

	Name and Address of school （学校名及び所在地）	Required number of years of schooling	Year and Month of Entrance and Completion （入学及び卒業年月）	Majoring Subject （専攻科目）	Diploma or Degree awarded （学位・資格）
Elementary Education （初等教育） Elementary School （小学校）	Name（学校名） Location（所在地）	yrs （年）	From（入学） To（卒業）		
Secondary Education （中等教育） Lower and Upper Secondary Education School （中学及び高校）	Name（学校名） Location（所在地）	yrs （年）	From（入学） To（卒業）		
Higher Education （高等教育） Undergraduate Level （大学）	Name（学校名） Location（所在地）	yrs （年）	From（入学） To（卒業）		
Graduate Level （大学院）	Name（学校名） Location（所在地）	yrs （年）	From（入学） To（卒業）		
Total of the years of schooling mentioned above （以上を通算した全学校教育修学年数）		yrs （年）			

In case the blank spaces above are not enough to fill in, please accompany this form by an annexed sheet.（（注）上欄に書ききれない場合には，適当な別紙に記入して添付すること。）

11. Employment Record. Begin with the most recent one, if any.（職歴）

Name and Address of organization （勤務地及び所在地）	Period of employment （勤務期間）	Position （役職名）	Type of work （職務内容）
	from To		
	from To		
	from To		

12. State the titles or subjects of books or papers (including a graduation thesis), if any, with the names and addresses of publishers and the date of publication.

（著書，論文（卒業論文を含む）があればその題名，出版社名，出版年月日，出版場所を記せ。）

13. Japanese Language Background, if any.（日本語の学習歴）

i) Name and address of instruction（学習機関およびその住所）

_____

ii) Period of study（学習期間）

From _____ (year)（年） _____ (month)（月） _____ (day)（日） to _____ (year)（年） _____ (month)（月） _____ (day)（日）

iii) Name of teacher（教師名）

_____

iv) Japanese Language Proficiency: Evaluate your standard and fill with an X where appropriate in the following blanks.（日本語能力を自己評価のうえ，該当欄に×印を記入すること。）

	Excellent（優）	Good（良）	Poor（不可）
Reading（読む能力）			
Writing（書く能力）			
Speaking（話す能力）			

14. Foreign Language Proficiency: Evaluate your standard and fill with an X where appropriate in the following blanks.（外国語能力を自己評価のうえ，該当欄に×印を記入すること。）

	Excellent（優）	Good（良）	Poor（不可）
English（英語）			
French（仏語）			
German（独語）			
Spanish（西語）			

15. Family Background（家庭状況）

Name（氏名）	Relation-ship（続柄）	Age（年齢）	Occupation（職業）	Address（住所）	Living or Deceased（生死）	*Check your accompanying dependents to Japan.（注）渡日する場合，同伴予定の家族には該当欄に×印を記入せよ。
	Father（父）					
	Mother（母）					
	Spouse（配偶者）					

16. Person to be notified in applicant's home country, in case of emergency: (緊急の際の母国の連絡先)

i) Name in full:（氏名）

_____

ii) Address; with Telephone number or Cable Address:（住所：電話番号又はケーブルアドレスも記入のこと。）

_____

iii) Occupation:
（職業）_____

iv) Relationship:
（本人との関係）_____

Date of Application:
（申請年月日）_____

Applicant's Signature:
（申請者署名）_____

Applicant's Name; in Roman block Capitals:
（申請者氏名）_____

県費留学生受入事業補助金交付要綱

新潟県

（趣旨）

第１条　　この要綱は、県費留学生（県の経費支援を受けて県内の学校、試験研究機関又は医療機関等の受入機関での研究又は研修等を目的に来県する外国人をいう。以下同じ。）の受入及び補助金交付について基本的な事項を定める。

（受入の目的）

第２条　　新潟県と友好親善関係にある国･地域からの県費留学生受入を促進し、専門分野の研究又は研修はもとより、我が国の風物及び文化を理解し、県民との交流を通じて国際的友好関係の推進を図ることを目的とする。

（補助金の趣旨）

第３条　　知事は、前条の目的を達成するため、県費留学生の留学にかかる経費について、予算の範囲内において補助金を交付するものとし、その交付に関しては、新潟県補助金等交付規則（昭和 32 年新潟県規則第 7 号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

（受入計画）

第４条　　県費留学生の受入計画及び補助対象経費等については、別表１のとおりとする。

（受入の決定）

第５条　　知事は、別表１に定める推薦者に対して県費留学生候補者の推薦を依頼する。

２　推薦者は、別表１に定める資格・条件を満たし、県費留学生として適当と認める候補者を別表２に定める必要書類を添付して知事に推薦する。

３　知事は、推薦を受けた候補者について、希望する研究又は研修内容をもとに受入機関と協議し、受入を決定する。

４　知事から受入決定を受けた候補者は、留学開始までの間に疾病その他留学が困難となる事由が生じたものと認められるときは、推薦者を通じて知事に申し出て、その指示を受けなければならない。

（補助金の交付条件）

第６条　　知事は、県費留学生に対して別表１の対象経費欄に定める経費を予算の範囲内で補助する。この補助金は、次の各号に掲げる事項を条件として交付する。

（１）申請内容の変更をする場合には、知事の承認を受けること。

（２）受入期間内における留学の中止又は中断(一時帰国や海外渡航を含む)は、これを認めない。ただし、県費留学生本人の責めに帰さない理由によるものであって、知事に申し出てその承認を得たときは、この限りでない。なお、中断期間中の生活費については、これを支給しない。

（交付申請）

第７条　　規則第３条第１項の規定により交付申請を行う場合には、別記第１号様式による交付申請書を受入期間開始前に知事に提出しなければならない。

２　知事は、前項の書類のほか、必要と認める書類を提出させることができる。

（変更の承認申請）

第８条　　第６条の（１）の規定により知事の承認を受けようとする場合には、別記第２号様式による変更承認申請書を知事に提出しなければならない。

（留学の中止又は中断の承認申請）

第９条　　第６条の（２）の規定により知事の承認を受けようとする場合には、別記第３号様式による中止（中断）承認申請書を、その留学の中止又は中断しようとする日の３０日前までに知事に提出しなければならない。

２　県は、当該県費留学生の責めに帰すべき事由により、その留学の中止又は中断をする場合は、第６条の規定にかかわらず、その経費の全部又は一部を県費留学生の負担とすることができる。

（補助金の交付時期）

第１０条　　知事は、概算払により県費留学生に補助金を交付することとし、その交付時期は次の各号に掲げるとおりとする。

（１）航空運賃、受入国内旅費、寝具借上料及び国民健康保険料の全額並びに書籍費及び通学交通費の上半期並びに生活費の第１四半期分については、交付決定後直ちに交付することができる。

（２）生活費の第２四半期以降の支給分については、各四半期の始まる前月に交付することができる。

（３）書籍費及び通学交通費の下半期分については、当該半期の始まる前月に交付することができる。
（４）その他、知事が必要と認める経費については、経費の納付先が定める納付期限の１か月前に交付することができる。
２　県費留学生は、補助金の概算払を受けようとする場合は、別記第４号様式による概算払請求書を知事に提出しなければならない。

（状況報告）
第１１条　　県費留学生は、毎月の研究又は研修状況について、翌月１０日までに別記第５号様式により知事に報告しなければならない。
２　県費留学生は、帰国後の現地生活状況や新潟で学んだことをどのように活かしているか等について、帰国後３年の期間にわたり、半年に一度程度、別記第６号様式により推薦者を通じて知事に報告するよう努める。

（実績報告）
第１２条　　規則第１２条の規定により実績報告を行う場合には、別記第７号様式による実績報告書を知事に提出しなければならない。
２　前項の実績報告書の提出時期は、受入期間終了の日から起算して３０日を経過した日又は補助金の交付の決定のあった年度の翌年度の４月３０日のいずれか早い期日までとする。
３　実績報告書による実績額が交付決定額を下回った場合は、その額をもって補助金の額とする。また、補助金の既受領額が実績額を上回っている場合は、知事の命令により過剰分を返納しなければならない。

（雑　則）
第１３条　　この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

（附則）
１　この要綱は、平成３１年４月１日から施行し、平成３１年４月１日から適用する。
２　新潟県中華人民共和国黒龍江省留学生及び研修生受入要領（平成２４年度適用）及び同事業補助金交付要綱（平成２０年度適用）はこれを廃止する。
３　新潟県中華人民共和国黒龍江省医師等研修生受入要領（平成２０年度適用）はこれを廃止する。
４　新潟県在外県人子弟等留学生・研修生受入要綱（平成２５年度適用）及び同事業補助金交付要綱（平成２０年度適用）はこれを廃止する。

別表1（留学生受入計画及び補助対象経費等）

<table>
<tr><th>支援型</th><th>受入機関</th><th>身分</th><th>受入期間</th><th>推薦者</th><th>推薦人数（上限）</th><th>資格条件</th><th>補助対象経費</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="5">生活費等支援型</td><td rowspan="4">県内学校等</td><td rowspan="4">研究生</td><td rowspan="5">1年間
※1</td><td>中国地方省政府の長</td><td>2名</td><td rowspan="5">(1)受入機関が要求する条件を満たすこと

(2)心身共に健康であること

(3)希望する研究・研修内容が、これまでの専攻分野、職歴等に関するものであること

(4)受入機関が求める水準の日本語能力を有すること

(5)留学期間中はアルバイト等の収入を伴う労働に従事しないこと

(6)留学期間中は、毎月の研修報告を知事に提出すること(第11条)

(7)帰国後に本県との交流推進に寄与する活動をする意欲があること

(8)帰国後、現地での県関連イベント等に協力する意欲があること

(9)帰国後、3年間は定期的な状況報告を行うこと(第11条2項)</td><td rowspan="2">(1)就学費
・検定料
・入学金
・授業料
・その他知事が必要と認める経費

(2)生活費等
・航空運賃(往復実費)
・受入国内旅費(県一般職員への支給基準に準じる)
・生活費(月額108,000円を上限)
・書籍費(半期毎42,000円を上限)
・住居費(家賃、敷金等実費)
・通学交通費(県一般職員への支給基準に準じる)
・寝具借上料(実費)
・国民健康保険(実費)
・その他知事が必要と認める経費</td><td rowspan="2">(1)就学費及び生活費等の各経費については、留学生個人には支給せず、県が直接受入機関又は契約相手方に対して支払うことができる。
(2)中国留学生・研修生には航空運賃を支給しない。</td></tr>
<tr><td>ロシアハバロフスク地方政府知事</td><td>1名</td></tr>
<tr><td>在外県人会会長</td><td>1名</td></tr>
<tr><td>県内試験研究機関、医療機関等</td><td>研修生</td><td>中国地方政府の長又は黒龍江省医院院長</td><td>1名</td><td>(1)生活費等
・受入国内旅費(県一般職員への支給基準に準じる)
・生活費(月額108,000円を上限)
・書籍費(半期毎42,000円を上限)
・住居費(家賃、敷金等実費)
・通学交通費(県一般職員への支給基準に準じる)
・寝具借上料(実費)
・国民健康保険(実費)
・その他知事が必要と認める経費</td><td>(1)生活費等の各経費については、留学生個人には支給せず、県が直接受入機関又は契約相手方に対して支払うことができる。</td></tr>
<tr><td>学費支援型</td><td>県内学校等</td><td>研究生、正規生</td><td>1年間
※1
(1年間の延長可※2)</td><td>中国地方省政府の長
韓国駐新潟総領事館総領事
ロシアハバロフスク地方政府知事
在新潟モンゴル国名誉領事
ベトナムハイフォン市政府外務局局長</td><td>2名
2名
2名
2名
2名</td><td>上記(1)～(4)、(6)～(9)と同じ

(5)アルバイト等の収入を伴う労働については、在留資格の認める範囲内とすること</td><td>○就学費
・検定料
・入学金
・授業料
・その他知事が必要と認める経費</td><td>(1)就学費については、留学生個人には支給せず、県が直接受入機関に対して支払うことができる。</td></tr>
<tr><td colspan="5">◎合計</td><td>15名</td><td colspan="3">※1　原則として4月1日から翌3月31日までの1年間とする。
※2　学費支援型は、県及び受入機関の了承の下、1年間を上限に延長を認めることができる。</td></tr>
</table>

別表2（提出書類等）

		指定様式	必要部数	備考
○県費留学生の候補者推薦時（第5条第2項関連）				
(1)	推薦者による推薦書	（様式1）	1部	
(2)	研究又は研修希望調書	（様式2）	1部	
(3)	履歴書	（様式3）	1部	
(4)	家族調書	（様式4）	1部	
(5)	健康診断書	（様式5）	1部	
(6)	顔写真	30mm×40mm	4枚	
(7)	最終学校の卒業証明書又は卒業見込証明書	原本	1部	
(8)	(7)の日本語訳		1部	
(9)	最終学校の成績証明書	原本	1部	
(10)	(9)の日本語訳		1部	
(11)	最終学校の卒業証書又は学位記	原本	1部	
(12)	(11)の日本語訳		1部	
(13)	受入機関が指定する必要書類	一式	1部	
(14)	日本語能力を表す書類の写し		1部	
(15)	パスポートの写し		1部	
○推薦後、必要な時				
(16)	その他、受入機関及び入国管理局等が提出を求める書類			

別記第１号様式

年　　月　　日

新潟県知事　○○○○　様

住所

氏名　印

○○年度県費留学生受入事業補助金交付申請書

このたび、○○年度県費留学生の決定を受けましたので、その所要経費の交付を受けたく、新潟県補助金等交付規則第３条及び県費留学生受入事業補助金交付要綱第７条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

１　補助金交付申請額　　金　　円

２　事業の目的･内容

３　受入機関

４　受入期間　　年　　月　　日から　　年　　月　　日

５　経費の配分及び算出根拠

別記第２号様式

年　　月　　日

新潟県知事　〇〇〇〇　様

住所

氏名　印

〇〇年度県費留学生受入事業補助金変更交付申請書

〇〇年〇〇月〇〇日付け国際第〇〇号で交付決定を受けた標記補助金の変更交付を受けたく、新潟県補助金等交付規則第５条及び県費留学生受入事業補助金交付要綱第８条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

１　変更の理由、変更後の
　　事業内容等

２　補助金交付申請額　　変更前　金　　円
　　変更後　金　　円

３　既概算払受領額　　金　　円

４　今後受領額（返納額）　　金　　円

５　変更後の経費の配分及び算出根拠

別記第３号様式

年　　月　　日

新潟県知事　○○○○　様

住所
氏名　印

○○年度県費留学生受入事業補助金交付の中止（中断）承認申請書

○○年○○月○○日付け国際第○○号で交付決定を受けた標記補助金について、交付の中止（中断）承認を受けたく、新潟県補助金等交付規則第５条及び県費留学生受入事業補助金交付要綱第９条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

中止（中断）の理由

別記第４号様式

年　　月　　日

新潟県知事　○○○○　様

住所

氏名　印

○○年度県費留学生受入事業補助金概算払請求書

○○年○○月○○日付け国際第○○号で交付決定を受けた標記補助金について、県費留学生受入事業補助金交付要綱第 10 条第２項の規定に基づき、下記のとおり概算払請求します。

記

１　概算払請求額　　金　　円

２　内　　訳　　(単位：円)

経費	①交付決定額	②既受領額	③今回請求額	残額 (①－②－③)
航空運賃				
受入国内旅費				
生活費				
書籍費				
寝具借上料				
国民健康保険				
合計額				

３　支払方法（支払先）

銀　行	支　店	口　座	口座番号	名　義　人

別記第５号様式

年　　月　　日

新潟県知事　○○○○　様

University 所　属	
Name 氏名	
Theme of study 研究テーマ	

○○年度県費留学生　＿＿Month＿＿月研究・研修状況報告書

1　研究・研修内容についての報告（the report about your study）

（１）本人記載欄

（２）指導担当者講評欄（氏名：　　印　　）

↑Please have your supervisor checked before submission.

2　日常生活についての報告（the report about your daily life）

別記第６号様式

年　　月　　日

新潟県知事　○○○○　様

氏名

県費留学生経験者現況報告書

1　受入機関及び
　　担当指導者

2　受入期間　　年　　月　　日から　　年　　月　　日

3　現在の所属機関

4　現在の活動内容（仕事、学習の内容）

5　最近の新潟県との関わりについて

別記第７号様式

年　　月　　日

新潟県知事　○○○○　様

住所
氏名　印

○○年度県費留学生受入事業補助金実績報告書

○○年○○月○○日付け国際第　　号で（変更）交付決定を受けた標記補助金について、新潟県補助金等交付規則（昭和３２年新潟県規則第７号）第１２条及び県費留学生受入事業補助金交付要綱第１２条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１　補助金（変更）交付決定額　金　　円

２　事業の目的・内容

３　受入機関

４　受入期間　　年　　月　　日から　　年　　月　　日

５　経費の配分及び算出根拠